|  |  |
| --- | --- |
| **会場名** | **サブリーダー****役職　　　　　　　　　氏名** |
| 国際会議場 | 12階　1202 | 財団委員会次年度委員長 | 新堂博 |
|  |  | ポリオプラス小委員会委員長 | 川上克己 |
| **リーダー　役職・氏名** | 資金推進小委員会次年度委員長 | 川上哲司 |
| 立野純三 | パストガバナー | 資金管理小委員会次年度委員長 | 西垣浩 |
|  |  | 奨学金小委員会次年度委員長 | 渡邊徹 |
| **議事録作成者** | 新堂博 |

|  |
| --- |
| 開会：（　１５　　時　　３０　　分） |
| 発表者：立野　純三 |
| 【記録内容】冒頭の挨拶日本ロータリー財団の現況について奉仕活動を通じてクラブの活性化、寄付という形での奉仕事業に参加などの事例を上げクラブを上げて会員各位が奉仕事業に取り組む。 |
| 発表者：新堂博　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１５　時　４０分） |
| 【記録内容】**「ロータリー財団と補助金について」**ロータリー財団の5つの小委員会　ポリオプラス、資金推進、資金管理、補助金、奨学金各小委員会の活動内容について説明。ポリオが根絶されたエピソード紹介（日本、フイリッピン、中国の事例により）ロータリー財団委員会の活動方針と「定義」と「使命」RID2660ロータリー財団補助金「重点施策」RID2660中期3ヶ年目標と年次目標ロータリー財団補助金の原資（シェアシステム）ロータリー財団「補助金の種類」地区補助金利用「スケジュール」RACローターアアクトクラブのための財団補助金（要件緩和への理解、DEIによる公平の定義による。）RID2660地区財団委員会「活動と役割」これら項目について解説。 |
| 発表者：川上克己　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　０５分） |
| 【内容】**ロータリーとポリオ**ロータリーの最優先項目はポリオの根絶ポリオとは何か。ポリオ根絶のための基礎知識ポリオを根絶する理由ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなる。予防法がある以上根絶は可能！そのためには多くの資金が必要、非常在国（根絶された地域）においても再発症を防ぐため大規模な予防接種・監視（サーベイランス）の継続が必要で、そのための従事者（ポリオワーカー）、交通手段、研修、経口ワクチン・不活化ワクチンの必要性が求められる。ポリオ根絶の為にやるべき事は、認識の向上　情報を発信　イベントを実施　政府への働きかけ。ポリオプラス寄付に一人当たり＄５０以上の寄付への理解頂き、ポリオプラス寄付クラブをゼログラブをゼロに。 |
| 発表者：川上　哲司　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　１７　分） |
| 【内容】**財団寄付と認証について**・財団寄付の地区目標年次基金寄付 → 会員１人当たり 年間 １５０ドル 以上。３年間運用された後、使用される。前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映される。年次基金寄付は一人当たり150ドルを達成クラブには基本補助金を100％支出。150ドル未達成のクラブには寄付金額に応じて補助金額を10%～20%を減額。・財団寄付の認証ポールハリスフェロー、ベネフアクター、メジャードナーポール・ハリス・ソサエティ（PHS）は、年次基金／ポリオプラスへ、一括もしくは合計で、毎年 1,000 ドル以上のご支援を誓約下さる個人の認証制度の紹介。・財団寄付の方法と優遇措置・ロータリー・クレジットカード |
| 発表者：西垣浩　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　２９　分） |
| 【内容】**財団補助金の管理について**財団補助金は、皆様から頂いた寄付金（年次基金寄付・恒久基金寄付）を原資とした、会員各位からの「浄財」といえるがゆえに、一定の「ルール」に基づき行う必要性ある。　「授与と受諾の条件」と「財団補助金申請ハンドブック」の熟読　　　地区補助金の活用における必要最低限のルール14項目について解説。ロータリー会員による直接調達であること、継続的支援の禁止、報告書の提出など。中間団体経由によるロス防止、特定の受益者に偏らないこと、惰性化・既得化の防止透明性を高めチェック可能となるように。 |
| 発表者：渡辺徹　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　４２　分） |
| 【内容】**財団奨学金について**ロータリー財団の奨学金プログラムはグローバル奨学生と平和フェローがある。・グローバル奨学金奨学生　奨学生候補者の選考方法を説明応募資格（①応募資格は当地区内に在住･在学･在職または本籍(日本国籍か永住権)があること、②学士号を保有していること、③海外大学院への留学が目的で7重点分野のいずれかに該当する文約を専攻すること）他、要件を解説。・平和フェローシップ平和の構築に向けた平和活動家のための奨学金プログラム。（世界8大学に大学で履修）これまで全世界で1400人の実績あり当地区からは2名を過去に排出している。併せて、奨学生候補者の選考方法及び選考条件を説明し、問い合わせがあった場合、奨学金小委員会まで連絡する旨のお願い。国際機関で活動する、過去のグローバル補助金奨学生、及び平和フェローの近況報告２０２４-２５年度グローバル奨学生候補者（２５-２６年度派遣）のスポンサークラブとして自クラブで検討される事を要請。 |
| 閉会（１６時　５５分）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |